

平成29年度 第5回全体庁議（8月10日開催）

区分	審議・ <b>報告</b>	案件名 (担当部)	(2) 「一般廃棄物中間処理施設整備」の検討状況について [市民環境部]
----	---------------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨

十勝環境複合事務組合では、平成38年度以降の中間処理施設(くりりんセンター)について、施設の再延命化と更新の両面から、ライフサイクルコストや施設機能等を比較検討した結果、ごみ処理を安全、安定、持続的に行うため、新たな機能を備えた新施設を整備することが望ましいと判断したことを受け、十勝環境複合事務組合による施設更新に向けた考え方やスケジュール等について庁内で情報を共有し、同内容を8月23日の厚生委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 中間処理施設(くりりんセンター)の概要

くりりんセンターは、平成8年10月1日に供用を開始してから、運転期間が15年を迎える平成23年度から15年間の長期包括的業務委託により、5カ年をかけ施設長寿命化のため基幹整備を実施し、平成37年度までの30年間の運転管理を予定している。

2 現在までの検討状況(十勝環境複合事務組合)

(1)ごみ処理基本計画

十勝環境複合事務組合は平成28年2月に「ごみ処理基本計画を改定し、中間処理施設についての整備方針の作成や設置場所の考え方等の方向性を整理したもの。

(2)一般廃棄物中間処理施設整備検討

「ごみ処理基本計画」に基づき、今後の中間処理施設の整備方針づくりに向けた検討を行った結果、ごみ処理を安全に・安定して・持続的に行うためには、現在の長期包括的運転維持管理業務委託が終了する平成38年度以降は、新しい施設を整備し、新たな機能を備えた新施設でごみ処理を行っていくことが望ましいと平成29年2月に判断したもの。

3 新中間処理施設整備に向けた今後の取組み(十勝環境複合事務組合)

施設整備に必要となる主な作業項目とスケジュールは、平成30年度以降、「基本構想」「地域計画」「基本計画」の策定等をすすめ、概ね10年後の新施設稼働を予定しているもの。また、平成29年度は、「新中間処理施設整備検討会議」を開催し、基本構想策定に向けて今後のごみ処理のあり方を検討するもの。第1回の検討会議では「建設候補地の選定」について、十勝の中心部に位置し、ごみの搬入量が多い、帯広市、音更町、芽室町、幕別町に対し建設候補地の提案を求めることとなったもの。

4 帯広市としての考え方

新しい中間処理施設整備については、「帯広市一般廃棄物処理基本計画」の基本理念を踏まえ、環境負荷の低減と効率性・経済性の両立や市民生活に大きく影響する、排出から収集、中間処理、最終処分までの廃棄物処理システム全体について総合的に考え方を整理し、構成町村とともに検討を進めていくもの。

また、十勝環境複合事務組合から提案依頼を受けた建設候補地については、今後庁内検討等を進めていく。

■ 今後のスケジュール

作業項目及びスケジュール(平成30年度以降(時系列・予定))

- ・施設整備基本構想(1~2年)
  - ・循環型社会形成推進地域計画(1~2年)
  - ・施設整備基本計画(1~2年)
  - ・生活環境影響調査(1年半)
  - ・事業者募集、選定(※総合評価落札方式の場合で約2年)
  - ・施設設計、建設(4~5年)
- 以上、新施設稼働まで概ね10~11年

■ 審議結果

■ その他、指摘事項等

- ・特になし